

医療機器の設計・製造に関する“アジア最大”の展示会・セミナー

「MEDTEC Japan 2015」開催結果のご報告

「介護ロボット」「医療ICT」「検査キット」の専門展を新設し、過去最大規模で開催

■ **過去最高** 出展社数：530社／団体…3展示会の新設に伴い関連企業が出展、地方自治体の出展も増加

■ **過去最高** 来場者数：32,020人 …新設展への関心と成長戦略の医療機器分野への注目が高まる

— 次回は2016年4月予定、5展示会の同時開催を継続、さらなる規模拡大・充実化を目指す —

UBM Canon Japan 合同会社（東京都千代田区／職務執行者：クリストファー イブ）は、去る2015年4月22日（水）～24（金）の3日間、「東京ビッグサイト 東4・5・6ホール」（東京都江東区有明）にて、医療機器の設計・製造に関する“アジア最大”の展示会「MEDTEC Japan 2015（メドテックジャパン 2015）」を開催しました。以下に、その開催結果についてご報告します。

<出展社数・来場者数^{※1}>

・ 出展社数：**過去最高** 530社／団体

・ 来場者数：**過去最高** 32,020名（1日目：8,815名、2日目：11,937名、3日目：11,268名）

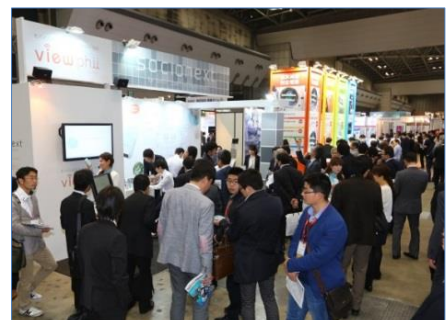
※1：【ご参考】前回の結果

出展社数：430社／団体、来場者数：28,137名（1日目：8,485名、2日目：9,679名、3日目：9,973名）。

1. 出展社数・来場者数ともに過去最高を記録

出展社数は、前回実績を100社上回る、過去最高の530社／団体（前回比約23%増）となりました。第1回から毎年、開催規模を拡大しています。

介護ロボット分野の「介護・福祉ロボット&機器開発展」および医療ICT分野の「Smart Health Japan」、検査キット分野の「Test Kit Japan」の3つの専門展示会を新設したことに伴い、関連する企業／団体が新たに出展。さらに、医療機器分野で新たに産業化を目指す、意欲的な地方自治体からの参加が20団体に拡大しました（前回は14団体）。また、展示ホールを3ホール（前回は2ホール）に拡大し、出展社のニーズにお応えしたことが、この結果につながったと考えています。



来場者数は、前回実績を 3,883 名上回る、過去最高の 32,020 名（前回比 約 14%増）となり、1 日あたりの平均来場者数も 10,673 名（前回は 9,379 名）と増加しました。

特に新設展への注目が高く、中でも最新の介護向けロボット・機器を体感できた「介護・福祉ロボット&機器開発展」や、ウェアラブル/ワイヤレスセンサー等によるヘルスケア IT ソリューション等が提案された「Smart Health Japan」に多くの来場者が集まり、関心の高さを示しました。また、医療機器業界への参入を目指し、医工連携に取り組む地方自治体のエリアにも、“地方発”の新たな技術を求める来場者の姿が多く見られました。

成長戦略としての医療機器分野においては、国が積極的に施策を推進する介護ロボットや医療 ICT などの分野を中心に、高齢化社会や ICT 社会を見据え、ますます期待が高まっています。

2. 介護ロボット開発（新設）と業界参入のための“超入門編”が人気となったセミナー

今回は、全 6 セミナーを開催。新設の「介護・福祉ロボット開発セミナー」は、経済産業省と厚生労働省が開発・実用化の施策を推進する注目分野でもあり盛況。また、前回から設けた「超入門！ 医療機器業界参入のためのセミナー」は、実際に業界参入に成功した企業から参入手法や要点等を具体的に学べるとあって、新規参入を目指す企業に人気となりました。

さらに、国内外の業界最新動向等を学べる「国際セミナー」や、“実践編”として好評の「サプライヤー向けセミナー」「スマートヘルスセミナー」「BIOMEDevice セミナー」は、医療機器業界での事業拡大や海外進出等のビジネス展開を目指す企業等を中心に受講者が集まりました。

なお参加者数は、全 6 セミナー（全て事前登録制・有料）で、延べ約 340 名となりました。

3. 経済産業省による医療機器産業政策等の講演に注目が集まった「最新技術フォーラム」

医療機器・医療用エレクトロニクス、介護ロボット開発等をテーマに行われたオープンフォーラム「最新技術フォーラム」（参加無料・自由聴講）。今年も経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室による講演が 2 日間（22・23 日）にわたって行われました。同省の医療機器産業政策に関して説明されたほか、同省が進める「医工連携事業化推進事業」の成果が紹介され、立ち見が出る盛況ぶりでした。



また、出展社によるプレゼンテーションには 26 社/団体が参加。医療機器の開発に関する独自技術・製品やビジネスモデル等を、来場者に向けて提案、アピールしました。

4. 次回は 2016 年 4 月予定、好評を受け 5 展示会の同時開催を継続し、さらなる規模拡大・充実化を目指す

次回は、2016 年 4 月 20 日（水）～22 日（金）の 3 日間にわたり、「東京ビッグサイト」にて開催予定です。今回の好評を受けて、「医療機器設計・製造」「医療用エレクトロニクス」「介護ロボット」「医療 ICT」「検査キット」の 5 分野にわたる専門展の同時開催を継続。特に今回盛況だった「介護ロボット」分野は、出展ニーズの高まりが予想され、展示エリアの拡大を見込んでいます。また、海外からの来場者を積極的に誘致するとともに、セミナー講師も海外から招くなど、より国際的な展示会を目指します。

成長戦略の牽引役として、さらに注目が集まる医療機器業界の設計・製造に関する技術・製品が一堂に介する“アジア最大”の専門展示会として、展示会ロゴもリニューアルし、さらなる規模

拡大と充実化を目指します。出展社は約 600 社/団体、来場者数は約 35,000 名を見込んでいます。

なお次回も引き続き、「医療機器」分野の『MEDTEC Japan』と「製薬」分野の『CPhI Japan^{※2}』を合わせ、“日本最大のライフサイエンスの総合展”「Japan LIFE SCIENCE WEEK^{※3}」と称し、東京ビッグサイト・東ホール全体を会場に、開催する予定です。



※2：医薬品原料・中間体の国際展示会（主催：UBM ジャパン株式会社、UBM Live、株式会社化学工業日報社）。詳細は同展示会の公式ホームページ（URL <http://www.cphijapan.com/>）をご参照ください。

※3：今回は、初の試みとして、「MEDTEC Japan 2015」と「CPhI Japan 2015^{※2}」を合わせ、“日本最大のライフサイエンスの総合展”「Japan LIFE SCIENCE WEEK 2015」と称して開催しました。

*なお、次回の出展申込受付は、4月27日（月）より開始しました。

【出展の問い合わせ/資料請求先】 ※記事中の読者問い合わせ窓口もこちらでお願いします。

「MEDTEC Japan 事務局」（UBM Canon Japan 合同会社内）
TEL：03-5296-1034/E-mail：medtecjapan@ubm.com

<「MEDTEC Japan 2015」の概要>

- ・展示会名：「MEDTEC Japan 2015」、「ElectroMED Japan 2015」
NEW 「介護・福祉ロボット&機器開発展」、NEW 「Smart Health Japan 2015」
NEW 「Test Kit Japan 2015」
- ・会 期：2015年4月22日(水)～24日(金)
- ・会 場：東京ビッグサイト 東4・5・6ホール（東京都江東区有明）
- ・主 催：UBM Canon Japan 合同会社
- ・後 援：一般社団法人日本医療機器産業連合会、日本の技術をいのちのために委員会
- ・協 賛：一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ
- ・公式ホームページ： <http://www.medtecjapan.com>

<この件に関するお問い合わせ先>

- 【報道関係窓口】** 株式会社ユニ・プランニング 担当：臼田
TEL：03-5282-8651/FAX：03-5282-8658
E-mail：usuda@uni-planning.co.jp
- 【リリース発信元】** UBM Canon Japan 合同会社 担当：滝川
TEL：03-4360-5669/FAX：03-4360-5301
E-mail：aiko.takigawa@ubm.com

*写真データをご入用の際は、【報道関係窓口】まで、お気軽にお申し付け下さい。